

# 人類史上最大の戦争の大義だった西洋が、完全に合法性を 失った

By Dr. Paul Craig Roberts

Global Research, August 31, 2014

## ドネツク人民共和国の事実

“剣をもってロシアへやってくる者は、その都度剣によって滅びる”



**KIEV'S 'ANTI-TERRORIST' OPERATION IN EAST UKRAINE ACCORDING TO UN HUMAN RIGHTS: AT LEAST 257 CIVILIANS KILLED, INCLUDING 14 CHILDREN. 5 JOURNALISTS.**



## WHO ARE THE TERRORISTS?



東ウクライナでのキエフの“反テロリスト”作戦——国連調査団による：14人の子供、5人のジャーナリストを含め、少なくとも257人の市民が死んだ。

テロリストはどちらなのか？

この地域はもともとロシア領だったが、ソ連の党幹部が、その当時すべてがソ連邦に含まれていたため、どちらでも変わりはないと考え、不注意にもウクライナに付属させたものである。それが今、それ自体の政府をもつ独立共和国（複）になっている。西側はそれは間違いであるかのように言う。ワシントンとその傀儡政府が、これまで囚われていた人々の独立を認めないからである。しかし西側の見解はもはや通用しない。

この 2 日の間に、ドネツク人民共和国の新しく編成された軍ユニットが、残っていたウクライナ軍の大部分を敗退させ包囲した。ロシア大統領プーチンは、ドネツク共和国に、ウクライナの敗残兵士たちを故郷の妻や母の元に帰してやるように要請した。ドネツク共和国は、ウクライナ兵が武器を残していく限り、プーチンの慈悲ある要請に合意することにした。ドネツク共和国は武器が不足しているが、それは西側のウソとは裏腹に、ドネツク共和国はロシアから武器の供与は受けていないからである。

キエフにあるワシントンの傀儡政府は、自分の隊に差しのべられたこの慈悲をことわり、死ぬまで戦うよう命令した。スターリングラードでのヒトラーを彷彿させる。西部ウクライナは 1945 年以來、ナチズムの溜り場のようになっていて、ワシントンが自由と民主主義に敵対して同盟を組んだのは、西部ウクライナである。

ブログ **The Saker** のおかげで、我々は、ドネツク人民共和国の閣僚会議議長である **Alexander Zakharchenko** がメディアに対して行った、英語字幕付きの記者会見を見ることができる。出席しているのはロシアと西側の報道記者である。

これを見る人は、ザハルチェンコが無知で腐敗した西側の代表を扱うときの、落ち着いて易々とした態度に強い印象を受けるだろう。そして、「あなたの側で戦っているロシアの正規軍はいるのですか？」というメディアの質問に対して彼が答えるとき、あなたは可笑しくて横腹が痛くなるであろう。

<http://vineyardsaker.blogspot.com/2014/08/watershed-press-conference-by-top.html>

イギリスとアメリカのジャーナリストが、すでにわかっていたことだが、最も愚かな質問をした。「あなたはなぜ捕虜にパレードさせたのですか？」という質問に対する応答には、可笑しくて死にそうになるだろう。

このザハルチェンコという人物は、アメリカ、ヨーロッパ、カナダ、オーストラリア、日本などの、アメリカ帝国のあらゆる傀儡政治家に、恥をかかせている。ザハルチェンコのような人格と能力をもつ人物がアメリカにいてくれたら、と思う。

ザハルチェンコが公然と考えを述べ、愚かな西側のメディアを圧倒した今、さぞかし彼は悪魔のように言われ、歪めて伝えられることだろう。そこでこの機会を、誰が廉直ですぐれた人格をもっているかを、自分の目で見つけるのに利用されたい。ヒント——それは西側の政界やメディア界の人ではない。